

中有扶桑
一客星

るべからず。之が爲め滞留十日に及ふ(防寒の爲め調達せし被服類は出發準備の項に詳記せり)。一日藩臺樊增祥氏の招宴に應ず、宴は衙門の後庭に在る望遠樓に於て開かる樓上遙に終南山を望む。景勝絶佳、座上皆官中の名士なり、因て一絶を賦し、雅集を紀す。

瓊樓遙對南山靈

冠蓋去來蘭麝馨

文昌佳氣珠連座

中有扶桑一客星

予は當地の軍隊を一見せんと欲し、其意を通ず。然るに有司は言を左右にして快諾せず。乃ち其意を諒し復た請求せざりき。

予は予の旅行に就て、多大の同情と便利とを與へられたる大谷光瑞伯一行と茲に訣別せざるべからざるに至りたり。即ち伯等は此地に滞錫して、布教の傍ら史蹟を踏査せられ、予は目的地に向ひて前途を急がざるべからざるが爲めなり。

天下何れの處か鼠賊なからん。實にや濱の眞砂と共に盡くる無きは鼠賊なり。北京は支那の帝都にして、又鼠賊の巢窟たり。繁華般賑の地、各國皆然らざるは無しと雖も、殊に支那に於ては驚くべき事多し。例へば公然馬賊の運送店を開始するか如き是なり。然れども彼等は、沒德貪戾の盜賊たるに似ず、其の表面業とする

盜賊の運
送業